

# 3月定例議会

# 行政報告 (1)

平成20年3月定例議会は、2月28日に開会し、21日までの会期で開かれています。議会初日には、平成20年度の施政方針が示されたほか、行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また11日、12日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会へ付託された議案を審議し、21日の最終日に採決が行われます。今号と次号の2回にわたり3月定例議会の行政報告の概要についてお知らせします。

## 総務部関係

**■総務課**  
県からの事務権限移譲については、新たに30事務の受け入れに同意しました。この結果、平成20年4月1日には89の対象事務のうち65事務の移譲となり、移譲率73・08%（19年4月1日現在で39・77%）に達し、移譲率順位では県内の市において1位となります。

平成19年度の職員採用試験は、11月29日に一般職3名、12月6日に消防吏員5名を第2試験合格者として告示しました。

**■税務課**  
19年度の各税目の当初課税状況は、軽自動車税課税額が6878万9千円、固定資産税は1億5197万3百円となっています。

## 企画部関係

**■総合政策課**  
市移動行政懇話会を、昨年12月、合川地区(13日)、森吉地区(17日)、阿仁地区(20日)、鷹巣地区(25日)で開催し、約200人の市民から貴重なご意見、ご提言をいただきました。機構改革については12月21日、第12回機構改革検討委員会が開催され、大規模な機構改革が1年先延ばしとなったことから、今年4月の機構について協議し、喫緊の課題に向け、「危機管理対策室」と「行財政改革室」の新設を検討しました。

秋田内陸線存続を考える会と北秋田市長との意見交換会が、12月13日、阿仁山村開発センターで開催されました。存続に向けた乗車運動の取り組みとして、阿仁地区では全世帯が乗車回数券を購入し目標を上回る3100枚の購入実績があったことが報告されました。

また、市民団体主催の「新春秋田

## 福祉事務所関係

**■福祉課関係**  
2月1日現在の生活保護世帯数は、331世帯、444人となっています。

平成19年度の家庭用灯油の高騰に伴い、低所得者世帯の軽減を図ることを目的として、平成20年1月15日から3月31日までの間、「北秋田市灯油購入費助成事業」を実施しています。

対象は、現年度の市民税が非課税の高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯及び生活保護受給世帯で、助成額は、1世帯あたり5千円、事業費は3500世帯分1750万円を見込んでいます。

昨年4月に開設した障害者生活支援センター「ささえ」の1月末現在の延べ利用者は、来所2242人、訪問458人、電話相談754件で、障害者支援の拠点施設として多くの方々に利用されています。

県内初の幼保連携型施設として建設を進められていた「認定子ども園・しゃろーむ」が、2月21日に県の完成検査後、25日から新園舎で保育を行ってまいります。県の「幼保一体化促進事業」の研究モデル園として本年度指定を受け、その実践研究に取り組んでいます。

内陸線談議」が1月26日、200人を超える市民参加の下、阿仁山村開発センターで開催され、活発な意見交換が行われました。



▲約200人が参加した「秋田内陸線談議」

**■財政課**  
平成19年11月19日以降の主な工事等の発注状況(500万円以上)は49件、契約額は6億4千516万7516万7千円でした。

## 市民生活課関係

**■保険課**  
平成18年度における北秋田市の一人当たり国民健康保険医療費の状況は、一般が25万4562円、退職が37万2563円、老人が70万5851円となっています。

業と情報交換を行いました。

冬の観光、レジャースポットである森吉山阿仁スキー場は、12月のオープンから2月末までの間3万6130人が訪れています。

2月9日・10日の2日間、「道の駅鷹巣・大太鼓の館」において「第14回鷹巣もちっこ市」が開催され、市内外から訪れた多くの観光客で会場は大賑わいでした。



▲大勢の人出でにぎわった「もちっこ市」

**■医療推進課**  
昨年12月5日付けで県に提出していた市民病院の開設計画申請に対し、1月23日付けで県から許可の通知がありました。

1月21日には市民病院建設のための建築、電気、機械それぞれの現場事務所が完成し、本体建設工事に着手しました。

指定管理者として予定している厚生連との条件整備のための指定管理者選定委員会を立ち上げ、第1回目の会議を1月28日に開催しました。

**■生活環境課**  
廃棄物の減量化や再資源化に向けた廃棄物減量等推進審議会を12月21日、開催し、14名に審議員の委嘱状を交付後、一般廃棄物処理基本計画素案について審議を行いました。

「北秋田市地域防災計画」は、3月中旬までに策定の予定で県との協議を進めています。策定後には各部署、関係機関へ配布し周知を図るとともに、避難マニュアル、ハザードマップ等の作成を順次行い、防災力の向上に努めます。

平成19年における飲酒運送追放等競争で当市は全県第5位となり、2月13日、県表彰されました。今後も関係機関と協力し、交通安全対策に努めます。

(1万491t)、阿仁部地域水田農業振興協議会(8千741t)に情報提供をしました。

今後は、各協議会が生産調整方針を作成し、農家に生産目標数量を配分することになっています。

木材公設施設整備事業については、年度途中で法律の一部改正で交付決定時期が遅れたことにより、設計業務委託(地質調査含む)を除き20年度に繰り越し建築工事を施工することになっています。

災害復旧事業については、平成19年9月16日から18日にかけて発生した秋雨前線豪雨災害による農業施設災害復旧工事(補助分)28工区(150箇所)を発注しており、残り13工区(28箇所)は、2月下旬の発注を予定しています。



▲豪雨災害による復旧工事を発注しました

## 産業部関係

### ■商工観光課

11月30日、「北秋田大野台工業団地インターネット基盤整備」について、東日本電信電話株式会社秋田支店と協定を締結しました。

1月24日、名古屋市中で開催された「あきたリッチセミナー」に出席し、北秋田市をPRするとともに参加企

### ■農林課

平成20年産米の需要量が県から通知されました。本市の数量は1万9232tで、前年と比較し8133tの減(△4・06%)となっています。

これに基づき、北秋田市米政策推進協議会(1月15日開催)の協議を経て、鷹巣地域水田農業推進協議会